

千葉 あいご

Vol.
88

Index

- 112 千葉県知的障害者福祉協会70周年について
- 3 令和6年度予算要望書を千葉県へ提出
- 4 人材確保委員会の報告
- 5 福利厚生委員会報告
- 6 わが施設の自慢・アピールポイント④
- 7 新事業所紹介・「手をつなぐ作品展」開催のお知らせ
- 718 千葉知協トピックス・事務局だより・編集後記

第88号 (2024年12月号) 発行日：2024年12月20日 / 発行者：里見吉英 / 編集者：畠山正昭・菅谷大輔・成川 真

発行所：千葉県知的障害者福祉協会

[本部] 千葉市中央区中央3-15-6 山長 (ヤマチョウ) ビル4F TEL 043-224-5721 HP <https://caid-net.com/>

[事務局] 船橋市金堀町499-1 大久保学園内 TEL 047-457-2462

千葉県知的障害者福祉協会70周年について

協会設立なんと70年

副会長・事務局長 千 日 清



記念パーティー会場



受付

私が協会の事務局を仰せつかり既に21年、様々な活動に参画する機会を戴きながら、これまで進んでいくことができましたが、協会の歴史は？ とそう言われれば全く以て、今日までその経緯や背景にまで想いを馳せたことはありませんでした。協会年間行事の中にある新任研修会の一コマに「福祉協会について」という広報活動の一環として時間が設けられ、簡単な説明を既に10年以上続けておりますが、詳細については深く認識はなかつたことと振り返ります。今回70年という節目にあたり、積み上げてきた歴史の掘り起こしができたことは私自身貴重なことと痛感し、大切な機会を



報告 千日副会長

頂戴したことに感謝いたします。そもそも会員の皆様にお送りした記念パーティーの案内文には当初設立60年と、10年も短くお示ししたぐらいでありますから。なんと70年を迎えようとしていることを今知り得るとは思ってもいなかったことでありました。特筆しておかなければならないことは、今回の振り返りにあたり、協会の重鎮の一人でおられる社会福祉法人桐友学園理事長、佐藤嘉二先生にご記憶を辿っていただき、ご協力いただきましたこと、心より御礼申し上げる次第です。令和6年7月11日東京飯田橋ホテルエドモントにおいて、千葉県知的障害者福祉協会創立70周年記念パーティーが120名の参加の中、日中活動支援部会の小田切紅子部会長の司会により開会されました。里見会長からの挨拶では、ご自身が半世紀にわたり取り組んできた福祉事業への思いと、福祉協会との長く強い繋がりに感慨深く、遠くを思い起こしながらのお話、当時会長自身が関わってきた協会の仕事と、関わってきた恩師や仲間とのエピソードに、私達後輩は改めて時代の流れを感じたところです。千葉県の障害福祉のスタートはいつから始まったのか。どのように今日に引き継がれてきたのか。日本知的障害者福祉協会所有の50年史を紐解きながら少し振り返りたいと思います。

遡ること昭和30年、日本知的障害者福祉協会（旧称 日本精神薄弱児愛護協会 平成11年現在の名称に変更）の地方会地区会組織名簿に、はじめて千葉県が掲載されます。日本知的障害者福祉協会は昭和9年に設立され、その約20年後に千葉県は地区会としてスタートを切りました。設立当初県内にある施設は、八幡学園、香取学園、不二学園、京葉学園の4児童施設。この各施設の代表者が集まり、連携という形を創りました。

歴代の県会長をご紹介します。

- 昭和30〜48年初代会長
渡辺 実 氏（八幡学園）
 - 昭和48〜50年会長
渡辺 映子 氏（国分学園 事業団）
 - 昭和50〜平成12年会長
古川 弘 氏（事業団）
 - 平成12〜15年会長
横山 紀武 氏（豊四季光風園）
 - 平成15〜24年会長
中原 強 氏（大久保学園）
 - 平成24年〜現在会長
里見 吉英 氏（佑啓会）
- 現在の里見会長は6代目となります。

日本知的所有の50年史の中には、歴史上の人物ともいえる石井亮一氏、糸賀一雄氏をはじめ日本の福祉の草分けともいえる方々の名前もございます。そして日本知的設立に向けて奔走ご尽力された八幡学園初代園長の久保寺保久氏の名前も記されておりました。

児童養護施設関係は全国にも古くからございますが、昭和20年の終戦後、児童施設はより多く起ち上げられ、千葉県でも同様に児童施設が開所されています。太田武夫氏（不二学園）、沢田文雄氏（誉田学園）、大島三之助氏（香取

学園、エマオ学園、大久保学園）、中村健二氏（日向弘済学園）、渡辺直幹氏（十余二学園）等々歴代の先生方の名前が連なり、千葉知的の活動がより活発になりました。

- 設立当初の協会の活動目的は、
- ① 施設間の情報交換と行政との連携
 - ② 研究事業の充実
 - ③ 施設間の親睦
 - ④ 年100円の会費制による協会運営
 - ⑤ 年4回の広報誌の発行

これらは今現在も全く同じコンセプトで取り組まれているものです。大きく時代は変わってきても設立当初の先人たちの想いと実践を、現在まで引き継いでこられた諸先輩方にあらためて感謝申し上げます。

千葉県知的障害者福祉協会は、平成15年には4500名を招いた全国大会も幕張メッセを会場として成功裏に収めました。以後グループホーム全国大会、児童発達部会全国大会等全国規模の大会も会員事業所の結束力で難なく開催した実績を誇ります。

また東日本大震災による福島原発事故によって、福島県の大規模施設の利用者が、鴨川市の青年の家に避難してきた際には、当協会から約1年間にわたり千葉協会職員を派遣を行い、その派遣した数は延べ人数約3500名にも及びました。このことに対して県知事、厚労大臣からの表彰も受けたところです。

千葉県知的障害者福祉協会は全国からも、結束力と組織力の高さを耳にすることがよくあります。どんなことでも結束して仕事をする、そして共助と連携を念頭に組織する。

不変でなければならぬ福祉の目指すものを見失うことなく、これからも協会活動の歴史は引き継がれて参ります。

設立者の想いは今もこれからも継続していかなければならぬ。歴史を調べながら痛感致しました。

私が福祉施設の職員になったころ、千葉知的の会長は古川弘先生。副会長には佐藤嘉二先生と九十九会の齊藤茂先生がおられました。皆さん温厚な表情で私たち若者に激励の言葉をかけていただいたことを覚えております。当時20代の私から見た会長や副会長は、静かで温厚な雰囲気醸し出し、こんな人たちが福祉という仕事をしているんだなと思つたものです。とりわけ古川先生に「若い頑張りなさい」と頭を撫でて戴いたことは、大きな励みであつたと記憶しています。

ゲストの「なつめろなっちゃん」による歌謡ショー、昭和レトロな歌と、仲間と酌み交わす美酒に酔いながら、記念パーティーは和やかに幕を閉じました。はて、この懐メロも今日集まつた方々の中で、どれだけ当時の本物を聞いたことがある人があるのか？ 私自身が40年以上歩んできたことも思い起こしながら、昭和、平成、令和という



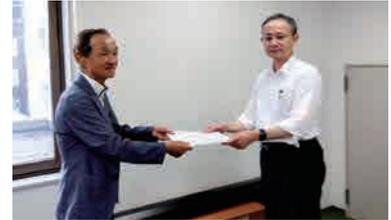
なつめろなっちゃん歌謡ショー

時の流れを感じるところです。先人たちの想いを引き継ぎながら、次世代へ繋げていく福祉協会。70年は人であらうと古希。これから80年、100年と積み上げていく協会。この歴史と実践に誇りをもって高い福祉を目指したいものです。

令和6年度予算要望書を千葉県へ提出

令和6年8月21日、千葉県知的障害者福祉協会事務所にて里見会長から千葉県健康福祉部障害福祉事業課 丸山課長へ要望書が提出されました。

里見会長から要望書を受け取る丸山課長



令和6年8月21日

千葉県健康福祉部障害福祉事業課
課長 丸山 隆 様
千葉県健康福祉部障害者福祉推進課
課長 中里 幸治 様

千葉県知的障害者福祉協会
会長 里見 吉英

令和6年度予算等要望書

令和7年度に向けた千葉県知的障害者福祉協会からの予算等重点項目について、下記の通り要望いたします。

- 暮らしの場支援会議の対象者を受け入れる場合の運営費補助は、職員の加配要件が必須となっているが、利用者本人に対しての補助とするよう取り扱いを見直して戴きたい。
- 強度行動障害のグループホームに対する設置要件の特例措置について
暮らしの場支援会議の対象者が入居するグループホーム及び現在入所施設で暮らしている行動関連項目15点以上の強度行動障害のある方が対象のグループホームについては、強度行動障害の特性から夜間や休日等における緊急時のバックアップ体制がとて重要であることから、千葉県独自の基準を設けることにより、入所施設の敷地内及び隣接地へのグループホームを建設することを認めて戴きたい。
- 障害児入所施設関係の県単措置費・給付費の改善について
虐待等による入所児に対して、国庫の被虐待児受入れ加算は令和4年度40,800円/月1年間の限定であるが、当該児童の支援の実態から18歳の移行完了時までの継続が必要であり、県単措置費の加算措置を講じて戴きたい。また、乳児院や児童養護施設等からの措置変更であっても被虐待児加算が取得できるようご検討戴きたい。
- 相談支援専門員の新規配置への補助
相談支援専門員の不足している現状を鑑み、千葉県計画相談支援推進事業補助金制度の策定をご検討戴きたい。具体的には、千葉市が実施している千葉市計画相談支援推進事業補助金交付要綱にならない、一定要件のもと柔軟な補助類型の策定をご検討戴きたい。
- 障害者スポーツ大会の選考並びに参加の取り扱いについて
現在の、参加選考については、基準記録が導入されているが、幅広く多くの参加が可能となるよう要項の見直しを行って戴きたい。また、特定の選手が連続して参加していることから一人でも多くの選手が全国大会に行く機会を得られるようにして戴きたい。
- 現在、連座制の適応となっている株式会社が運営するグループホームをはじめとした課題のあるホームへの行政の指導を強化して戴きたい。

以上

人材確保委員会の報告

フクシの未来を豊かにするために 人材確保委員会の取り組み

社会福祉法人榎の実会 総務部 在田 創一

令和6年度の人材確保委員会は、千葉県より「千葉県障害福祉のしごと魅力発信事業」を受託し、例年よりも多くのプロジェクトに臨んでいます。

今年度は新たな取り組みも始まっています。まず我々が取り組んだのは、それぞれの法人が持っている福祉の魅力を、より多くの若者へと発信するためのInstagramを中心としたSNSを活用した情報発信支援です。福祉業界の採用活動においてトップランナーであるFACE 2 FUKUSHI Iさんを講師に招き、7月と2025年1月の全2回、20を超える法人を対象とした全体研修を開催しています。これとともに、情報発信において先駆的に取り組んでいるJumble（ゆにぶる）さんを講師として、9月から2025年3月まで集中的に研修を受けるモデル法人を4つ選定し、法人Instagramの開設及びより魅力的な投稿方法について学ぶ場を設けています。



7月18日開催「法人の魅力伝える採用活動研修会」



9月から半年間開催「千葉情報発信モデル事業所構築研修」



10月4日開催「福祉こねくとフェア@千葉商科大学」



千葉県知的障害者福祉協会公式 Instagram

これらの研修に共通しているのは、何のために、誰に向けて、どういうことを伝えたいのかというレベルから今一度自分達の情報発信内容を見つめなおし、そのうえでどのようなツールでどういう内容を投稿すべきかという手段へ落とし込んでいくということです。これにより支援を受けている法人のInstagramでの投稿レベルは着実に上がっており、我々委員会だけでなく、参加しているモデル法人も確かな手応えを感じているところです。残り3ヶ月間で、どのような情報が発信されるまでになるか非常に楽しみにしています。

10月には大学内イベントとして「福祉こねくとフェア」を開催しています。場所は千葉商科大学市川キャンパス。このイベントは、福祉ライブカフェでも活躍してくれた同大学の和田ゼミの学生達12名が実行委員となり、文字通りその企画から運営まで担ってくれました。当日は就職ブースに加えて、ラジオブース、販売ブース、そしてゲストトークイベント等、大学のキャンパス内で障害者福祉の魅力を直接発信するイベントとなりました。当日までの広報に課題があったり、天候にも恵まれなかったこともあ

ってか、当日の来場者数は振るわなかったものの、実行委員として関わってくれた学生達からは、「来年度も学内に福祉の魅力を発信する為やらせてもらいたい！」という声が多く聞かれており、このイベントが、学生達の福祉に対する興味関心を深める貴重な機会になってくれたと感じています。

そして、11月には全く新しい取り組みとして、中高生へ向けて福祉の魅力を伝える取り組みも、松戸向阳高校で開催しました。イベント名は「中高生と考えるフクシの未来会議」。企画・運営は当委員会に加えて、学生団体キセキのはじまりさんが担ってくれました。高校生から大学生で構成されている若者達は、当日の受付、司会進行、ファシリテーターとイベントの中核を担いながら、集まった40名の小中高生へより響きやすい言葉と関わりで、障害者福祉について考える機会を創出してくれました。またこのイベントには、鎌倉でユニバーサルツアーの展開やゲストハウスを営み様々な福祉活動に取り組んでいる武士こと高野朋也氏や、脊髄損傷を負いながら、自ら東京で事業所を立ち上げて、世界いち気持ちいい介護を目指している吉田真一氏、そして高知で脳卒中サバイバーとして、自身の経験談を多方面へ伝える活動をしている愛グラント氏といった、福祉の幅を広げてくれるゲストにも協力をいただくことができました。ここに参加してくれた子供たちにとって、この時間が未来の福祉を更に豊かに彩っていく一助になってくれることを願います。

以上、現在の人材確保委員会の取り組みを紹介させて頂きましたが、皆様におかれましては引き続き当委員会の活動にご理解とご協力を頂きますようお願い致します。

福利厚生委員会報告

第7回施設職員交流野球大会



今年度も計11チームによる職員交流野球大会を7月に予選大会・9月には決勝大会として大谷津球場と中台球場にて開催されました。今年度も新規参加チームもあり職員交流野球大会が開催できた事に感謝しております。

**見事大会5連覇!!
(ふる里学舎Aチーム)**

今年も下馬評通りの強さ! 見事に大会5連覇となりました。もはや向かうところ敵なしと言っても過言ではありません。計4試合で52得点9失点の圧倒的な強さでした。来年以降この5年間負けなしのチームに土を付けるチームがあらわれるのか?! 来年の大会も楽しみます。

惜しくも準優勝!! (心聖会チーム)

今回惜しくも準優勝となりましたが、決勝以外の4試合で34得点8失点と安定した守りの野球で勝ち進み決勝を迎えました。決勝でも序盤はリードする場面もあり、このまま逃げ切るかと思われましたが...終盤に疲れが出たのか逆転され惜しくも準優勝。しかし安定した投手力! 来年こそは優勝! 期待しております。

《大会結果》

- 優勝 ふる里学舎A
- 準優勝 心聖会
- 3位 大久保学園
- 福利厚生委員長賞 ふる里学舎B
- 敢闘チーム賞 安房広域福祉会

《大会出場チーム》

- 東葛地区: 大久保学園・心聖会
- 千葉地区: ふる里学舎(2チーム)・清輝会
- みらい工房+手をつなぐ育成会+りべるたす連合

北総地区: 野栄福祉会・ロザリオの聖母会
成田地区: 清郷会+みのり福祉会+千手会連合
県南地区: 安房広域福祉会・みづき会

計11チーム

第19回施設職員交流ゴルフ大会

職員交流ゴルフ大会は8月26日にCPGカントリークラブにて52名での開催でした。

大会当日は猛暑の中、参加された皆さんが無事にホールアウトしてくれた事に感謝すると同時に皆さんが本来にタフな事に感心しました。また来年も数多くの参加をお待ちしております

《大会結果》

- 優勝 菜の花会 鈴木 雄人
- 準優勝 佑啓会 里見 吉英
- 3位 みらい工房 平井 晋也
- ベスグロ 菜の花会 與那嶺泰雄
- 安房広域福祉会 植村 順子

(敬称略)

《大会参加法人》

- 佑啓会・大久保学園・菜の花会・野栄福祉会・心聖会・福葉会・楨の実会・みらい工房・安房広域福祉会・みづき会

計10法人52名

第29回施設職員交流バレーボール大会

11月18日千葉ポートアリーナにおいて施設職員交流バレーボール大会が開催されました。

今年度は千葉ポートアリーナの改修工事と重なり、サブコートが使用不可となったので例年よりも1コート少ない3コートで計22試合となりました。かなりタイトな日程となりましたが、参加チームや審判のママさんバレーボール連盟の皆さんのご理解とご協力によりスムーズな大会運営ができた事に感謝致します。

福利厚生委員長 中村 敏久



野栄福祉会

大会2連覇!! お見事! (野栄福祉会チーム)

今年度は連覇のかかる大会でプレッシャーもある中、1回戦から3回戦までストレート勝ち! いよいよ緊張の決勝戦。相手は勢いに乗る清郷会! 結果はフルセットの末に見事優勝! 大会2連覇!!

野栄福祉会は第1回大会から県大会連続出場を誇ります。昨年の初優勝からの大会2連覇! 素晴らしいです。来年も3連覇目指して頑張ってください!!

惜しい!フルセットの末での準優勝! (清郷会チーム)

清郷会は昨年惜しくも1回戦で敗退し福利厚生トーナメントに回りましたが、そこで見事に優勝し福利厚生賞となったチームです。今年度は1回戦2回戦とストレート勝ち! 準決勝では昨年準優勝のふる里学舎に勝利し勢いのある大久保学園とフルセットの末に勝利! これはこの勢いそのまま優勝するのではないかと...結果はフルセットまで粘りましたが惜しくも準優勝! しかし今大会の台風の日! とても大会が盛り上がりました!! 来年はリベンジ!

《大会結果》

- 優勝 野栄福祉会
- 準優勝 清郷会
- 福利厚生委員長賞 安房広域福祉会
- 敢闘チーム賞 ふる里学舎和田浦

《真大会出場チーム》

- 東葛地区: 大久保学園・心聖会
- 千葉地区: ふる里学舎・クローバー会・九曜会・中野学園
- 北総地区: 野栄福祉会・八日市場学園・佐原聖家族園
- 北総育成園
- 成田地区: 清郷会・千手会・菜の花会
- 県南地区: ふる里学舎和田浦・安房広域福祉会・みづき会

計16チーム

支援スタッフ
から見た!

わが施設の自慢・アピールポイント④6

平成20年度から45回にわたり112の“プチ自慢”をご紹介してきましたこのコーナー。今回は2つの“プチ自慢”です!

東葛南部ブロック…多機能型事業所…みちる園

～美男美女が多い事業所です!(笑)～

みちる園は、県北西部鎌ケ谷市にある多機能型事業所(生活介護・児童発達支援・放課後等デイサービス 他)です。今回、みちる園について掲載していただ



Happy Halloween!!



イタリアンのランチにて※コーヒーです



季節のお花

けるとのことで、折角なので現在勤務中の職員全員に、みちる園の自慢できる部分を聞いてみました!

①環境が良い!

みちる園には、広い園庭があります。ふかふかの芝生と、季節のお花が周囲を彩り、全体行事にも皆さん伸び伸びと参加されています。建物も整理整頓と掃除が行きわたっており、心地よい環境の中で作業活動にも取り組んでいます。

②支援の幅が豊富!

職員数が多く、ご利用者一人ひとりに合わせた個別支援を行っています。自立や将来を見据えた支援、社会で生きていく上でのルールやマナー・言葉遣いの習得などなど…、ご利用者の特性に合わせて支援しています。また、職員同

士での情報共有も密に行い、「みちる園のご利用者を職員全員で支援する」というコンセプトで、日々支援しています。

③ご利用者も職員も全力で楽しめるイベント!

みちる園では行事にも力を入れています。季節に応じたイベントでは、職員も全力で仮装や女装(?)を行い、目で見ても楽しめるよう園内装飾も盛大に取り組みます。年に3回程程度、日帰り外出の企画も行っており、イタリアンのお店やホテルのレストランでランチをいただいたりしています。

この他にもアピールポイントは沢山ありますが、文字数の都合上ここまでで…。今後も、ご利用者と職員が共に楽しんで過ごせる事業所を目指してまいります!

生活支援員 加藤 彩楓

千葉ブロック…指定障害福祉サービス事業所…さいわい

～利用者寄り添った支援を目指す～

さいわいは、千葉市美浜区にある重症心身障害児・者の方の生活介護事業所です。現在は6歳から80歳まで総勢40名、さまざまな障害をもつ方が通われています。



夏祭り



活動の様子



お花見

す。来年で法人設立20年を迎えますが、開所当時のアットホームな雰囲気大切にしながら歩んできました。

美味しい給食を楽しむ、入浴をして心も体もリフレッシュするなど、生活面の充実を図りながら、日々さまざまな活動に取り組んでいます。

日中活動では、利用者の皆さんが参加しやすいよう取り組み方を工夫しながら創作やゲームの活動を行っています。例えばボールを投げる時腕が伸ばせない方に合わせて道具を作るなど、職員の中にはアイデアマンが大勢います。そして、時にはゲームで真剣勝負!利用者職員が一体となり、盛り上がる事も多いです。春はお花見、夏はお祭りや

プール、秋は十五夜やハロウィン、冬はクリスマスやお正月遊びなど、一年を通じてイベントも欠かせません。春のお花見では、少し足を延ばし桜が沢山咲いている公園までみんなで行くのが、利用者の方、職員とも楽しみのひとつです。新型コロナの流行後、大掛かりな外出行事は難しくなりましたが、その分室内で色々楽しめるように日々試行錯誤しています。利用者・そのご家族、ボランティアの皆さん、職員と沢山の人の力を合わせて、利用者の皆さんが穏やかに楽しい時間を過ごして頂けるよう、これからも様々な事にチャレンジしていきたいと思ひます。

生活支援員 黒田 佳月

新事業所紹介

指定障害者支援施設

ゆめふる成田

「人」が「主」人公になる
「住」まいを目指して」



外観

ゆめふる成田は、葉の花会の母体施設であるしもふさ学園を移転、新築し、昨年10月1日にオープンした自閉症の方を中心とした入所施設です。段差の無いバリアフリーの建物となり、全室個室、居室の広さは10畳〜14畳、トイレは、現在必要な方は、居室に設置されていますが、現在トイレがない居室も将来的にトイレが必要となった際には、すぐに設置できるようになっています。

ゆめふる成田は自閉症の方々が暮らす場所として、人が主人公となる住まいを目指し、一人ひとりの個性や障害の特性に合わせた建物作りを行いました。「スタイル40」と理事長により名付けられ、同じ居室が2つとない、40人の生活スタイルに合わせたオーダーメ



ゆめふる成田の周囲環境



居室

イドの居室となります。現在、1年が経過しましたが、食事や入浴などの時間帯以外は、廊下や食堂に人が誰もいないユニットがあるなど、多くのご利用者様が自室で思い思いに過ごし、日々おだやかに暮らせています。今年度は、「スタイル40」の見直しも行い、一人ひとりに合わせた居室の活用についても、その効果を検証していますが、行動上に様々な課題があった方もご本人に必要であった環境調整と支援が組み合わさることによって、課題行動の減少が図られた方もいます。今後は、ご利用者様一人ひとりへの支援をさらに深めていきたいと考えております。

施設長 渡部 聡

第52回「手をつなぐ作品展」開催のお知らせ

北部地区

開催日 令和7年4月22日(火)〜23日(水)
会場 イオンモール八千代緑が丘
事務局 大久保学園

中部地区

開催日 令和7年2月14日(金)〜16日(日)
会場 ユニモちはら台
事務局 中野学園

南部地区

開催日 令和7年2月14日(金)〜16日(日)
会場 イオンモール木更津
事務局 ふる里学舎蔵波

千葉知協トピックス

スポーツ文化委員会 藤崎 明

第51回手をつなぐスポーツのつどい



網引き〜青葉の森

令和6年9月26日(木)、第51回手をつなぐスポーツのつどい(本協会、千葉県等が主催)が千葉県青葉の森スポーツプラザ陸上競技場(千葉市)を会場に1,220名の参加を得て、開催しました。当日は好天に恵まれ、参加者は心地よい汗を流していました。午前の第1種目は網引きが行われました。約700名の参加があり、紅白にそれぞれ8チームに分かれて2チームずつ4回戦で行われました。第2種目は皆さんお楽しみのアンパンレースで、約800名が参加しました。午後は100mを4人でつないでグラウンドを1周する恒例の対抗リレーが行われました。利用者の皆さん、職員がチームのために一生懸命走るの、今回もたいへんな盛り上がりでした。各部門の主な成績は次の通りです。

【児童の部】 優勝…放課後等デイサービスSORA、準優勝…ふる里学舎青年寮、3位…ふる里学舎千倉

【成人施設利用者の部・男子】 優勝…ふる里学舎蔵波、準優勝…ふる里学舎、3位…大久保学園

【同女子】 優勝…富里福葉苑、準優勝…大久保学園、3位…オリイブランナーズ

【職員の部・男子】 優勝…ふる里学舎、準優勝…大久保学園、3位…みづき会

【職員の部・女子】 優勝…ふる里学舎、準優勝…大久保学園、3位…清郷会

なお、昼休みの時間には絵画展の表彰がありました。表彰は次の通りでした。最優秀賞・菰田志歩さん（あすかケアホーム）、千葉県障がい者スポーツ協会々長賞・鶴沢かずみさん（すえひろ工房やまぶき）、千葉県知的障害者福祉協会々長賞・高橋由紀奈さん（ピーアンビシヤス）、千葉県手をつなぐ育成会々長賞・山下毅さん（ききょう会）、優秀賞・藤間大輔さん（菜の花会）、同・野上卓真（しもふさ工房）。



最優秀賞「マラソントレーニングボーイ」菰田志歩さん

第31回千葉県障害者フライングディスク大会

10月3日、千葉県立青葉の森スポーツプラザ陸上競技場で総勢365名のエントリーをいただき、「第31回 千葉県障害者フライングディスク大会」が開催されました。当日は、晴天の中フライングディスク競技を参加者の皆さんに楽しんでいただきました。

団体戦の成績は以下のとおりです。

- （男子）第1位 八日市場学園／第2位 印西市立福祉作業所 コスモス／第3位 富里福葉苑
- （女子）第1位 しもふさ工房／第2位 八日市場学園／第3位 富里福葉苑
- ディスタンス団体
 - （男子）第1位 富里福葉苑／第2位 佐倉福葉苑／第3位 八日市場学園
 - （女子）第1位 八日市場学園／第2位 しもふさ工房／第3位 富里福葉苑
- 団体総合
 - （男子）第1位 八日市場学園／第2位 富里福葉苑／第3位 佐倉福葉苑

- （女子）第1位 しもふさ工房／第2位 八日市場学園／第3位 富里福葉苑
- 団体男女総合
 - 第1位 八日市場学園／第2位 富里福葉苑／第3位 佐倉福葉苑

SAGA2024 全障スポ (第23回 全国障害者スポーツ大会)

10月26日～28日、佐賀市にあるSAGAスタジアムをメイン会場に「SAGA 2024 全障スポ」(第23回全国障害者



全スポ開会式

スポーツ大会)が開催されました。



ボウリング



卓球

千葉県からは総勢108名の選手を派遣し、金47個、銀24個、銅14個の好成績を収めました。知的障害関係の派遣選手では、20個の金メダルを獲得し、松本吏功（陸上50メートル）、安藤渉（水泳50メートルバタフライ）が大会新記録しました。千葉県選手団は総勢33名の選手を派遣し、金8個、銀10個、銅4個のメダルを獲得しました。

オリーブハウスII部優勝！ ゆうあいソフト

朝日新聞社杯争奪第39回千葉県ゆうあいピックソフトボール選手権大会が11月6日成田市大谷津運動公園野球場他にて12チームの参加により開催されました。当初9月開催予定が雨で実施出来ず規模を縮小しての平日開催となり、2チームの棄権や試合時間を50分に短縮する等変則的な大会となりました。それでも参加選手は詰まった思いを炸裂させるかの様な果敢なプレーにより、各球場で熱戦が繰り広げられました。大会結果は次のとおり。



ふる里学舎 vs 市川大野高等学園

公式ルールのI部優勝は、とまりぎソフトボールクラブA（2年連続3回目）、2位ふる里学舎A、3位市川大野高等学園、全国障害者スポーツ大会ルールのII部優勝は、オリーブハウス（2年ぶり3回目）、2位みのり福祉会、3位松里福祉会でした。

事務局便り

事務局長 千日 清

静かに今年を締めくくり、穏やかに新しい年を迎える。繰り返し述べていくことが如何に貴重であるかを知る。一年間ご苦労様、来年もよろしくお願ひいたします。

編集後記

おおはし園 成川 真

「あいご」の編集に携わって丁度一年となりました。編集の仕事を通して、県の知的障がい福祉分野において利用される方の為に多くの方が携わり、協力し、頑張っている事に気づきました。

一人でも多くの方に「あいご」を手にとって頂き、県のこの分野の今を知って貰えたら嬉しく思います。